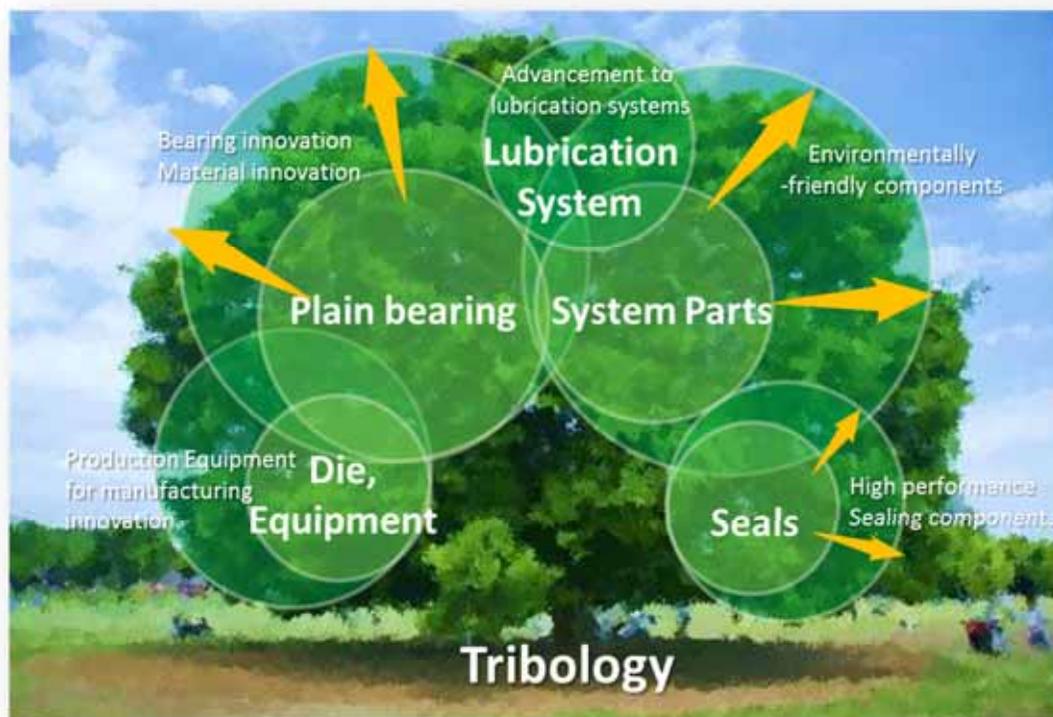


2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月29日



将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている当社業績見通しは、現時点で把握している情報に基づき、当社が判断したものです。実際の業績は、今後の経済動向、市場の需要、為替レートの変動、税制や諸制度など、様々なリスクや不確定要素に左右されます。従いまして、実際の当社業績は見通しと異なる結果になる場合があることを、あらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。

当プレゼンテーション資料に掲載された情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願いいたします。

目次

1 . 2017年3月期 第2四半期実績

および通期業績予測

2 . 今期の取組み状況

2017年3月期 第2四半期 決算の概況 < 連結 >

(単位:億円 以下切り捨て)

	第2四半期 前年同期実績比				第2四半期 当初公表値比			これまでの 第2四半期 最高業績
	17/3期 実績	16/3期 実績	増減	増減率	17/3期 当初公表値	増減	増減率	
売上高	539	526	12	2.4%	525	14	2.7%	529 ('09/3期)
営業利益	33	28	4	16.8%	29	4	16.2%	28 ('16/3期)
経常利益	30	28	1	6.4%	29	1	4.4%	28 ('16/3期)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	21	16	4	28.3%	17	4	25.3%	17 ('08/3期)
為替レート	105円/\$ 118円/€	120円/\$ 134円/€	-	-	110円/\$ 125円/€	-	-	

売上高、利益ともに第2四半期で過去最高

16/3期 第2四半期では、特損として中国WBMの「のれん」減損 3億円が発生したため。

前年同期比

【売上高】 539.2億円 (+12.4億円、2.4%増)

< 増収要因 >

- ・タイにおけるIMV用新型ディーゼルエンジンに搭載されるバキュームポンプ、ヘッドガスケットが大きく増
- ・北米における樹脂コーティングエンジン用軸受の増産 等

< 減収要因 >

- ・円高による影響、中国市場の低迷による減収

【営業利益】 33.6億円 (+4.8億円、16.8%増)

< 増益要因 >

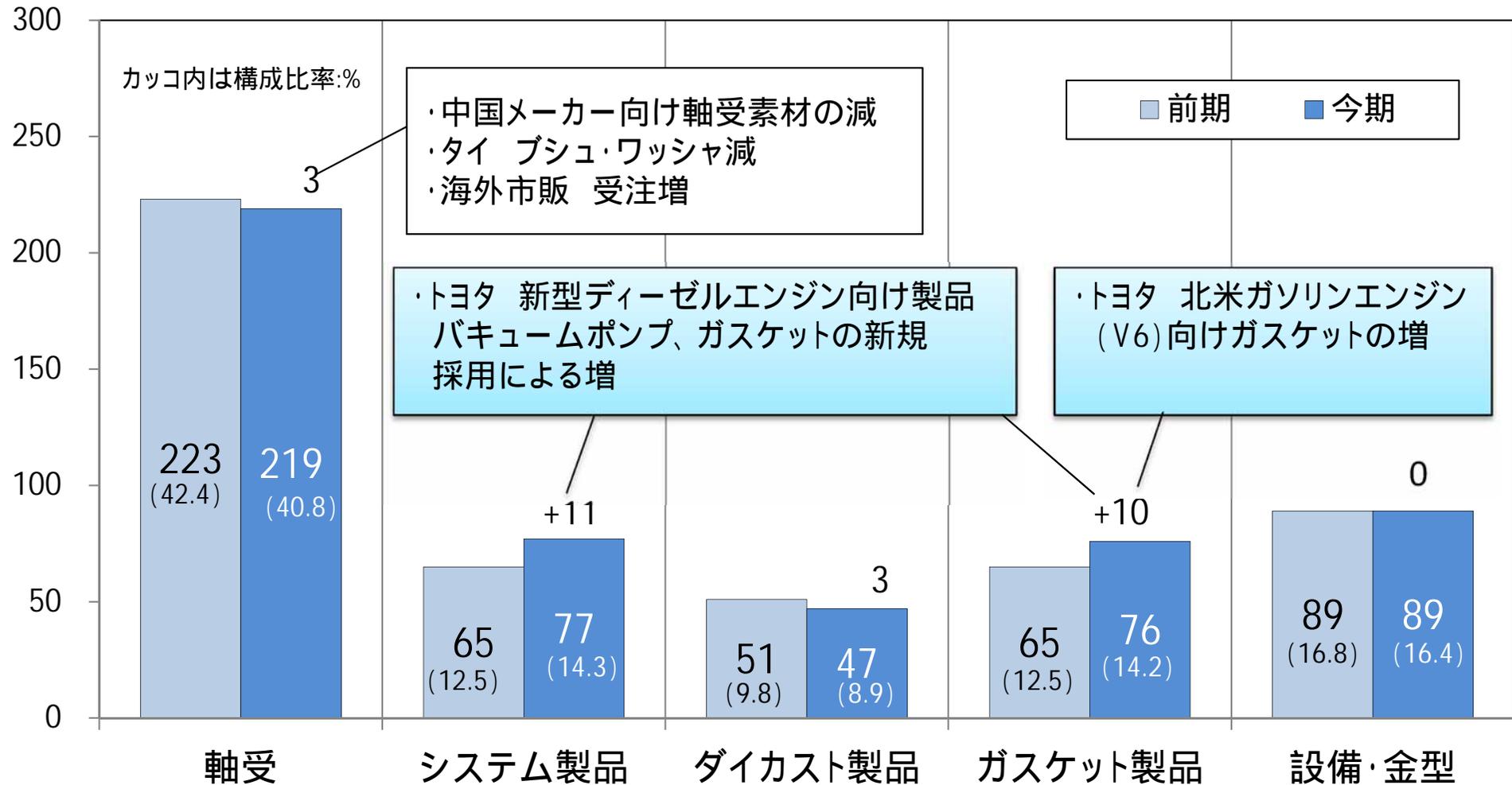
- ・新製品立上げによる売上増、合理化努力、原材料価格変動等

< 減益要因 >

- ・為替変動、販価改定、労務費の増等

2017年3月期 第2四半期 製品別売上高 < 連結 >

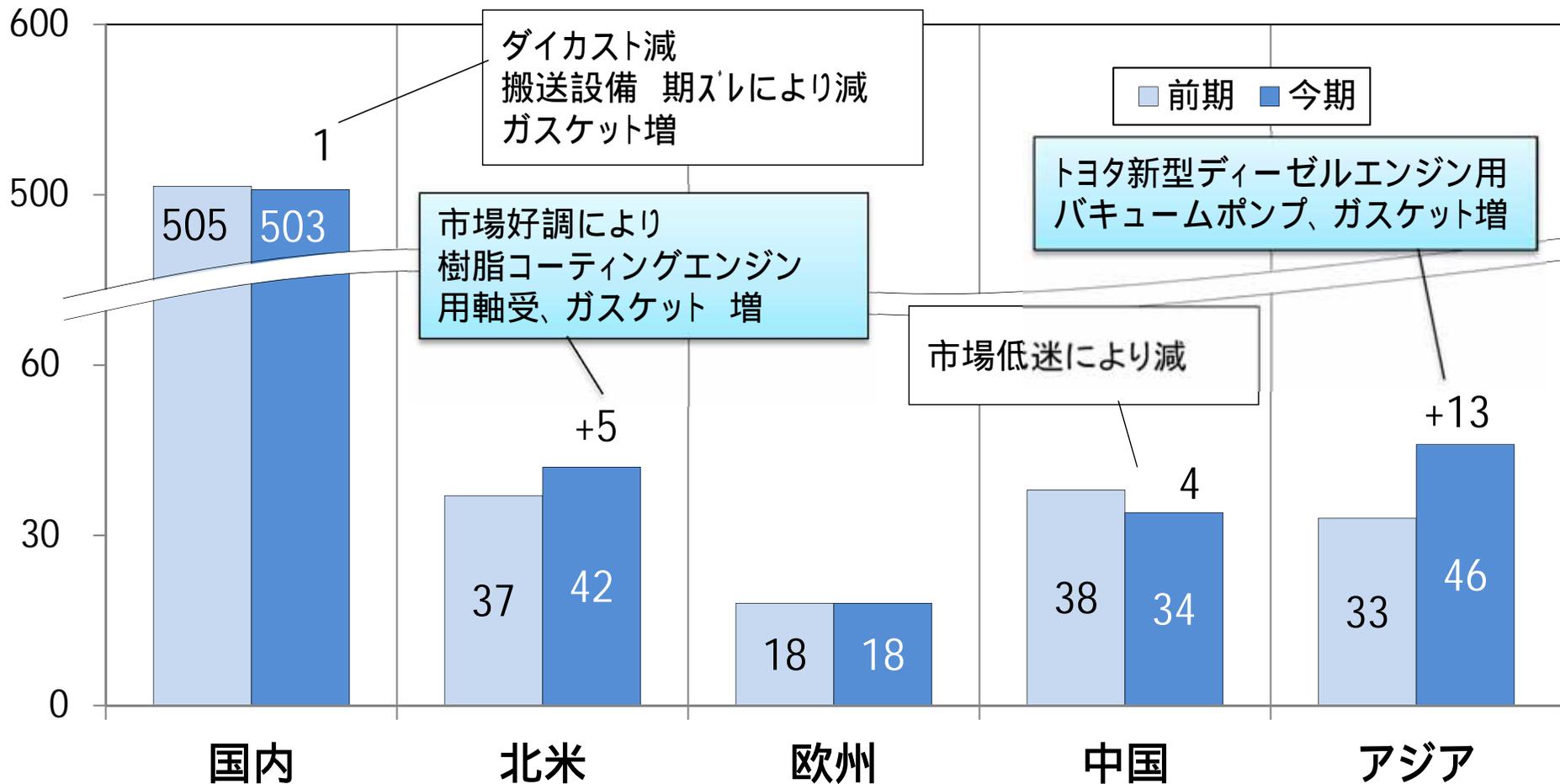
(億円)



前期比 12億円増収の主な要因は、
システム製品(バキュームポンプ)およびガスケット製品増

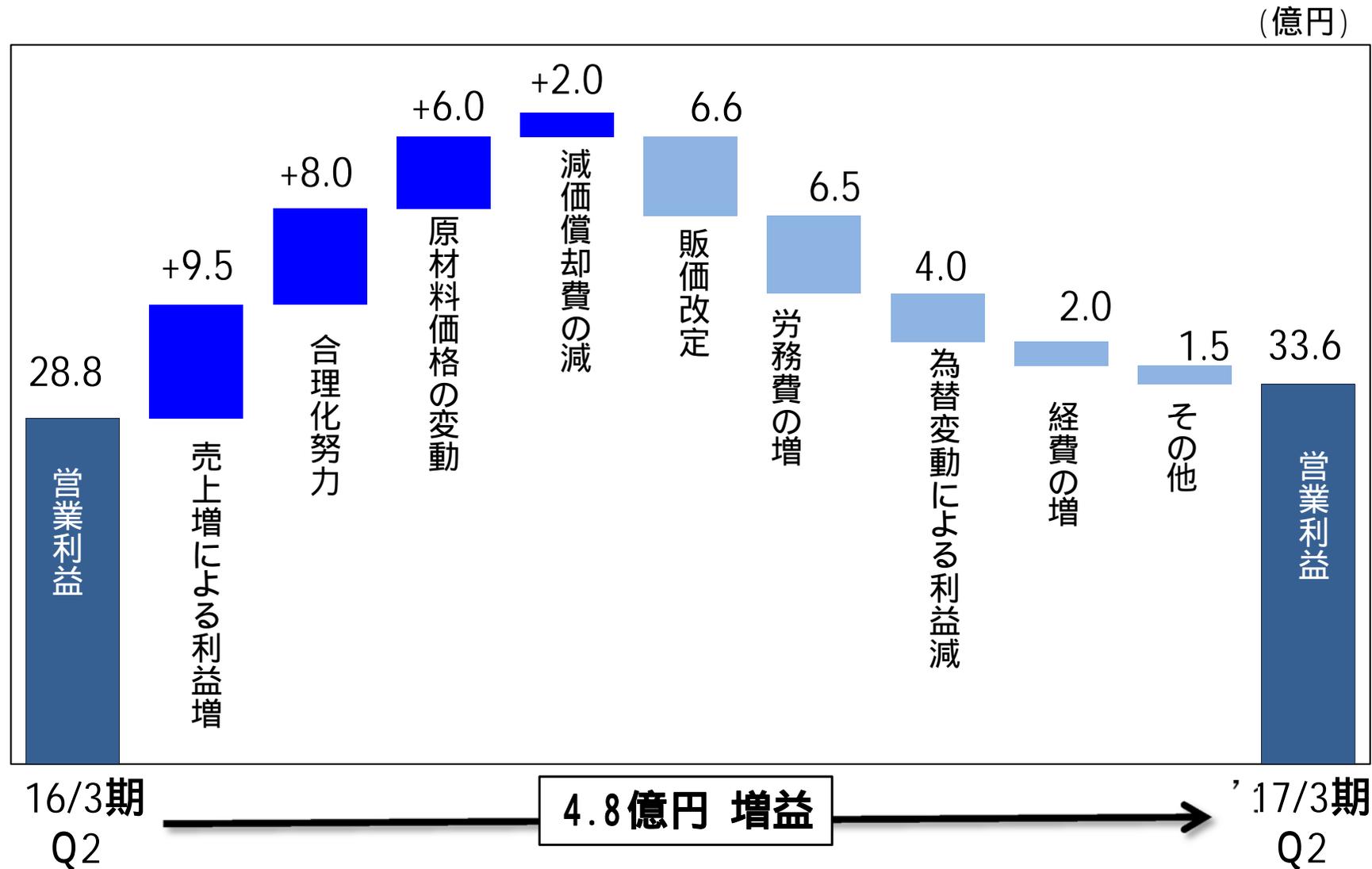
2017年3月期 第2四半期地域別売上高 < 連結消去前 >

(億円)



北米 市場好調によりエンジン用軸受、ガスケットの増
 アジア バキュームポンプ、ガスケットの増

営業利益増減要因(前年同期比) < 連結 >



売上増による利益増、合理化を中心に増益 +4.8億円

2017年3月期 通期業績予測 < 連結 >

(単位:億円 以下切り捨て)

	通期予想 前年同期比			
	17/3期 通期予測	16/3期 実績	増減	増減率
売上高	1,090	1,072	17	1.6%
営業利益	69	66	2	4.1%
経常利益	64	62	1	1.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	39	37	1	3.4%
為替レート	105円/\$ 116円/€	119円/\$ 132円/€	-	-

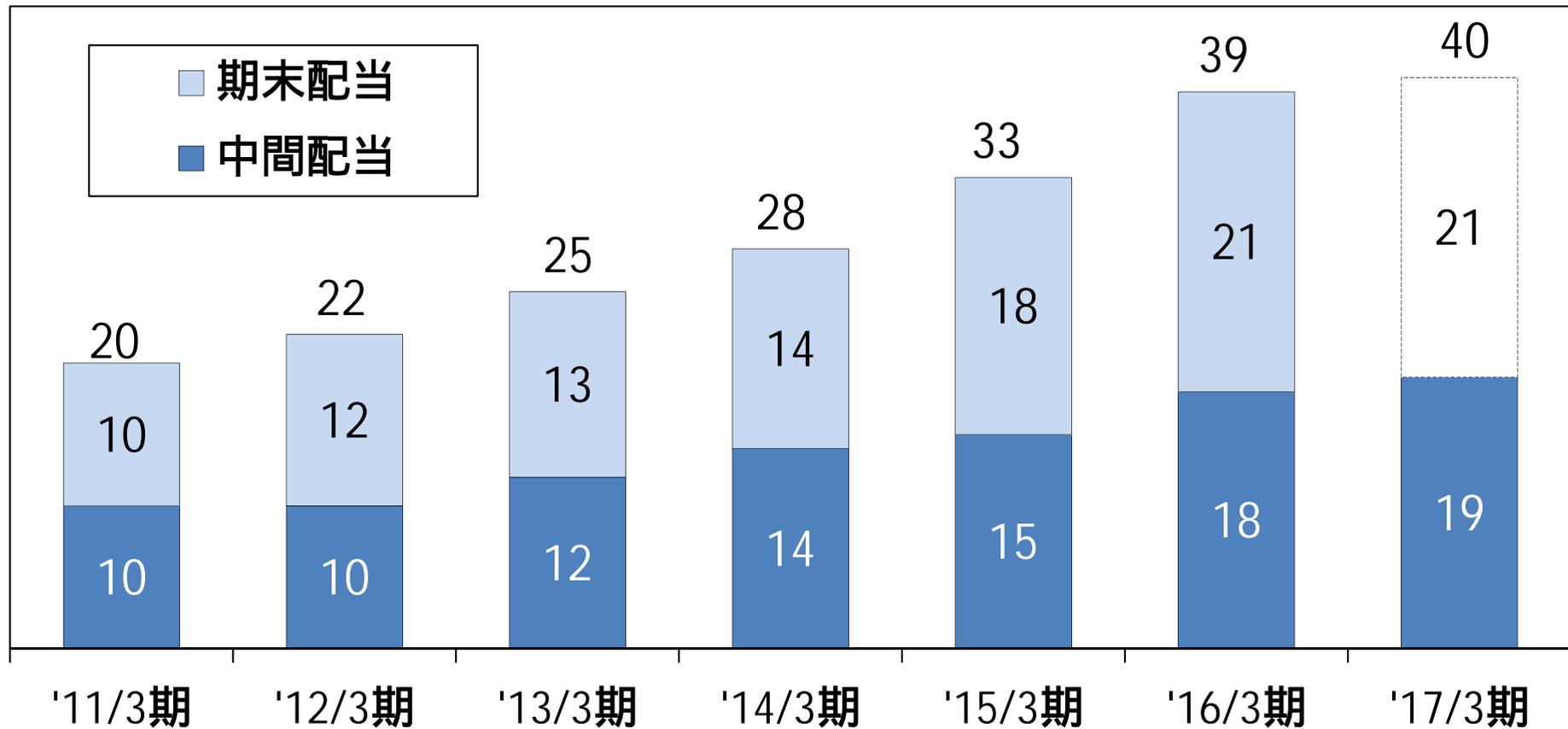
2017年3月期 過去最高収益をめざす

前提為替は105円/\$ 116円/ユーロに置き換えるが、
通期予想は当初公表値から変更なし。

株主還元

1 株当たり配当の推移

(円/株)



連結配当性向30%をベースに、長期安定的な配当を目指す

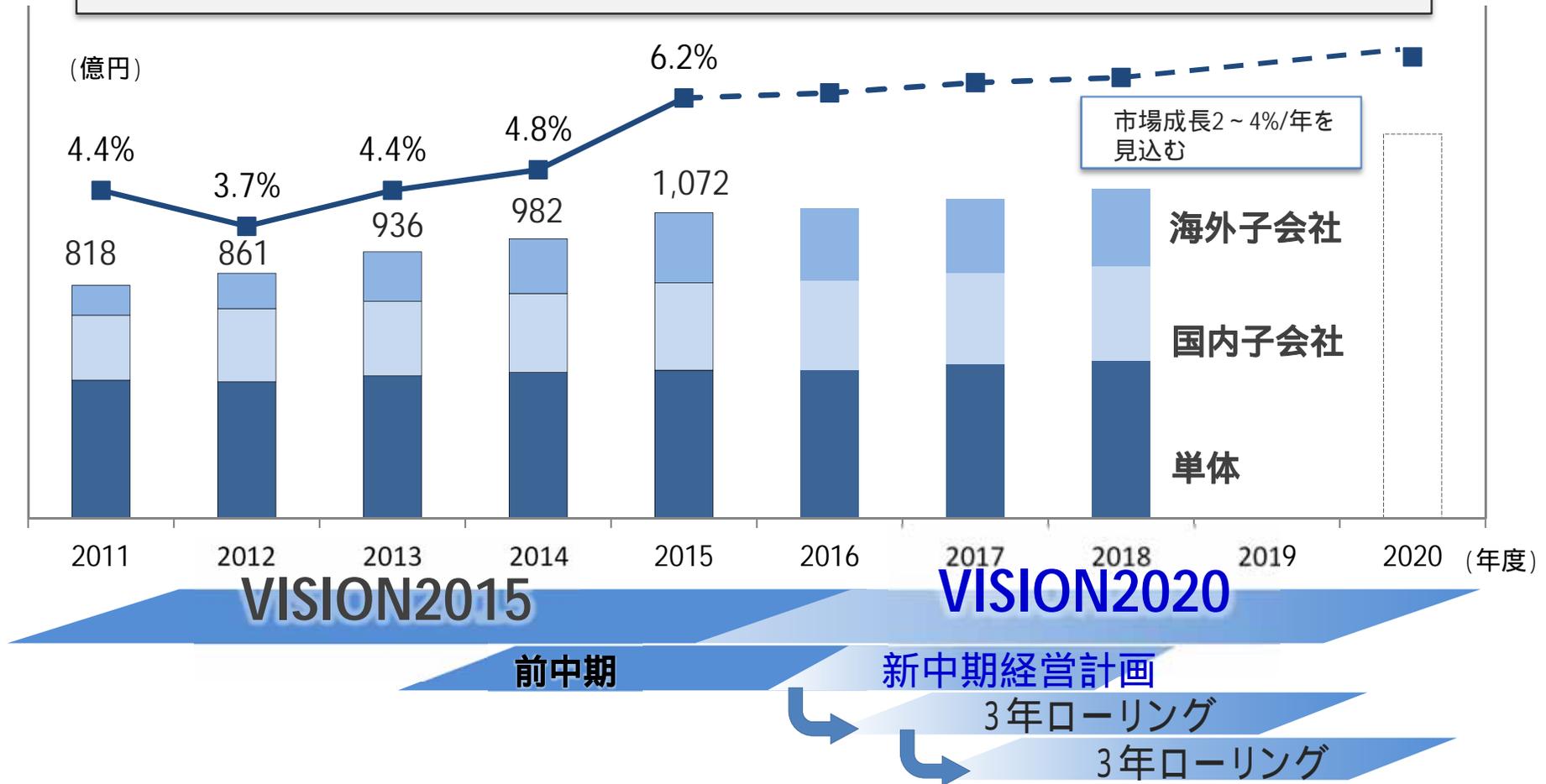
1 . 2017年3月期 第2四半期実績
および通期業績予測

2 . 今期の取組み状況

『VISION2020』と『新中期経営計画』の位置付け

売上高、営業利益率 推移

2011年度からVISION2015をスタートし、2015年度には
売上高1,000億円を超え('07年以来) 営業利益率6%台を達成



今期、新中期経営計画をスタートさせ、VISION2020の実現をめざす。
毎年ローリングしながら市場成長2~4%/年を見込み、持続的な成長を図っていく。

大豊グループの『VISION2020』

VISION2020 ～地球環境とお客様への貢献～

トライボロジーをコアに、軸受をはじめとした環境に貢献する製品を迅速に生み出し、グローバルにお客様へお届けする



今期の取組み グローバル供給を支える製造・生産技術

日本国内での体制強化

大豊岐阜第3工場を建設開始

(16年~) '17年4月竣工予定

北米での体制強化

・樹脂コーティングライン 海外稼働開始

(15年~)

・バキュームポンプ生産を予定

(17年~)

タイ

・IMV用ディーゼルエンジン向け
バキュームポンプをTCTで

生産開始 (15年~)

インドネシア

・新興国市場での競争力強化
で良品廉価 (RR) ライン稼働

(15年~)

中国での体制強化

・軸受一貫生産体制をスタート。

(16年~)

・樹脂コーティングライン稼働

(16年~)

日本国内での生産体制強化

大豊岐阜(株) 第3工場建設開始(2016年)



目的

- すべり軸受の新材料開発設備の設置
- 将来に向けたエンジン用軸受および新製品の生産能力強化

・工場面積 9,800㎡

・着工2016年9月 竣工2017年4月

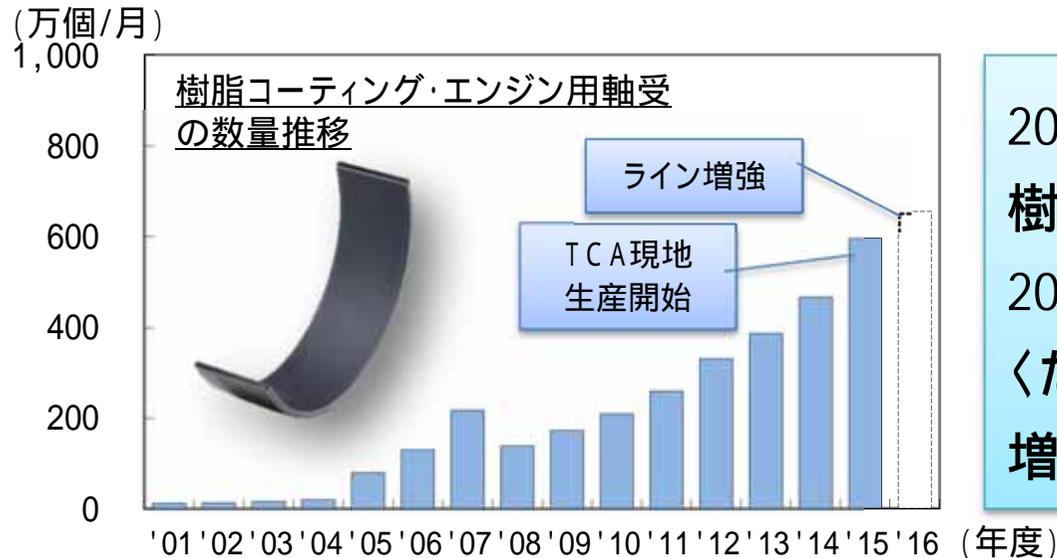
エンジンの小型、高出力化に対応していくため、高性能な新材料をスピーディに開発できる設備を設置する。

すべり軸受メーカーとしてさらなる技術力向上をめざす。

今期の取組み グローバル供給を支える製造・生産技術

北米での生産体制強化

樹脂コーティングラインの能力増強(2016年)



2015年よりトヨタ、ホンダ、GMに向け樹脂コーティングラインを導入。
2016年には客先ニーズに対応していくため、ライン数を増やし生産能力を増強した。

バキュームポンプ生産予定(2017年)



タイに続いて2番目となる
バキュームポンプの海外生産
を2017年開始予定

中国での生産体制強化

中国国内ですべり軸受の一貫生産体制をスタート(2016年)



軸受素材拠点のWBMが、品質と生産性を日本レベルに上げた軸受素材を供給開始。
中国において、すべり軸受の素材～加工までの一貫生産体制を確立した。

樹脂コーティングラインを稼働(2016年)



TCYでは、中国で生産される小型・高性能エンジン向けに、耐摩耗性、潤滑性に優れる樹脂コーティング・エンジン用軸受の生産を開始した。

グローバル供給を支える製造・生産技術【ガスケット】

日本ガスケット(株)の海外生産状況

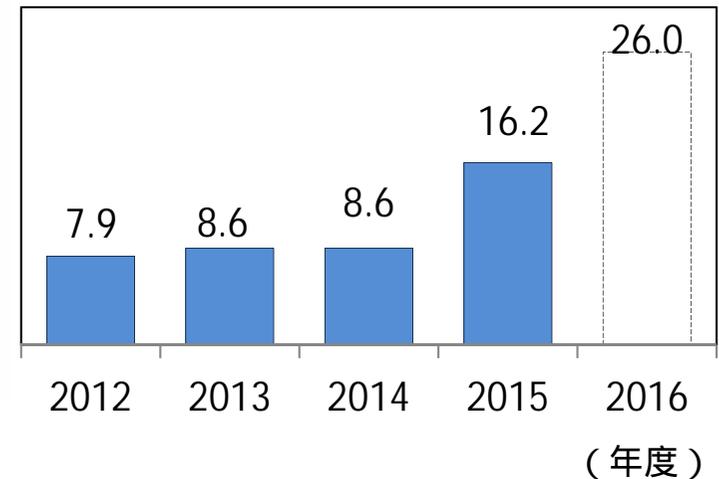
タイ (TNG)



ディーゼルエンジン用
ガスケット

ディーゼル(GD)立上げにより大幅売上増

日本ガスケット タイ売上高 (億円)



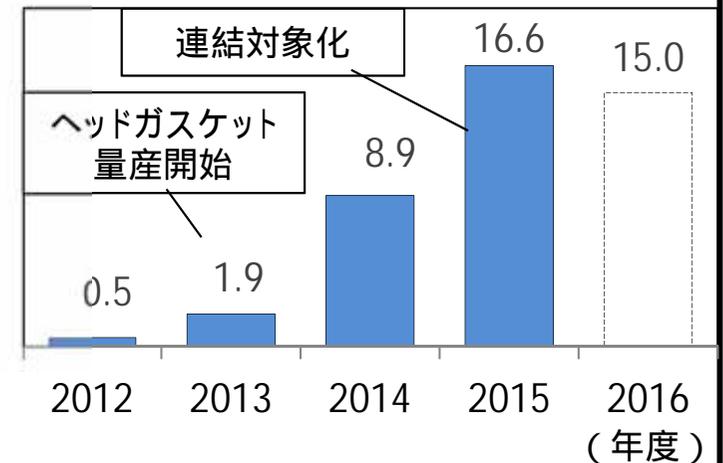
中国 (YNG)



シリンダヘッドガスケット

'13年より本格量産開始。昨年より連結対象化

日本ガスケット 中国売上高 (億円)



今期の取組み VISIONを実現する人財づくり

燃える職場・社員総活躍プロジェクトの推進 ～ 教え・教えられる風土の醸成～

実現に向けた三本の矢

第一の矢 人財力向上に向けた体系づくり

現場力を支える人財力向上
改善人財の育成
問題解決能力の強化
チームワークの醸成
社員の一体感づくり

現場力を支える人財力向上
元気工場プロジェクト現地点検会



改善人財の育成
保全道場の設置



問題解決能力の強化
管理能力向上プログラム



第二の矢 グローバル生産拡大への対応

チームワークの醸成
グローバルQC大会



社員の一体感づくり
大豊グループ駅伝大会



第三の矢 環境変化に対応した 新しい仕組みづくり

CSR活動の取組み

第1回国際シンポジウムの開催

大豊工業トライボロジー研究財団と共催で、トライボロジー研究の進展と強化を目的に4月名古屋国際会議場で開催



キッズエンジニア2016の参加

毎年、モノづくりに興味をもつ子どもたちへの社会貢献のため参加



交流ダーツ大会の開催

障がい者のレクリエーションと社員交流を図り毎年開催





中期経営方針 2016-2018年度

ゆるぎない 「信頼と技術」で グローバルに躍進

- 技術・品質・原価の徹底追求により、世界トップの競争力を持つ企業となる。
- 人財・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する。

TAIHO

ご清聴ありがとうございました。